

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成23年5月20日)

## 【その他報告事項】

- 1 第8回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の評価結果について  
【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 韓国江原道知事・議会議長との統轄監面談結果について  
【交流推進課】 . . . 3ページ
- 3 第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット実務代表者  
会議の結果について 【交流推進課】 . . . 5ページ
- 4 ゴールデンウィークの主要観光施設等の入込客数について  
【観光政策課】 . . . 6ページ
- 5 東日本大震災に係る県内への緊急誘客対策について（国内観光）  
【観光政策課】 . . . 7ページ
- 6 米子ソウル便、環日本海貨客船航路（旅客）の利用実績等について  
【国際観光推進課】 . . . 8ページ
- 7 東日本大震災に係る観光への影響・対策について（国際観光）  
【国際観光推進課】 . . . 9ページ

文化観光局

## 第8回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の評価結果について

平成23年5月20日

文化政策課

第8回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）（平成22年9月18日～11月30日実施）について、評価委員会（植田 丞 座長ほか14名）が事業評価を行い、評価報告書として取りまとめました。

### 1 評価の目的

- (1) 鳥取県総合芸術文化祭の基本方針に基づき、公的資金を活用した本文化祭の存在意義を明らかにするとともに、県民にその成果と課題を報告する。
- (2) 年度ごとに本文化祭の事業を見直し点検することで、より良質な作品創造や効率的な運営方法を確立する。

### 2 評価概要

#### (1) 参加者数

22年度の参加人数は30,207人（前年比9,511人の減）。メイン事業の未実施、「キラリ☆アートプロジェクト(※)」の事業数・公演数の減により減少。

※ 県民から演劇、音楽等の文化芸術の企画を公募する県総合芸術文化祭実行委員会の事業

#### (2) 広報実績

チラシ等の配布、新聞掲載、イベントの開催等、情報発信は多彩に行われているが、県民への情報発信件数は162件（前年比42件の減）であり、もっとメディアの人材を活用すべき。

#### (3) 観客アンケート

- ・アンケート回収率は11.2%（目標は25.1%）であり、回収率を高める工夫・努力が課題。
- ・「初めて鑑賞（参加）した」は38.7%（前年比8.1%の増）、「鑑賞（参加）したことがある」はここ3年間漸減傾向。
- ・観客の満足度は、78.0%で昨年度に続いて80%台に近づいた。「ぜひ鑑賞（参加）したい」「鑑賞（参加）したい」は合わせて85.9%（前年比3.4%の増）でやや回復傾向。

#### (4) 事業実施者の自己評価

- ・マネジメント力が大きな課題だが、本番の運営は3.2点（満点4.0）で、概して事業は円滑に実施されたと評価。
- ・東部では、大学生2人がアートマネージャーに立候補し、経験者と一緒に企画を進めていくといったチャレンジが試みられ、新風を吹き込んだ。中部では、新たにアートマネージャーが設置され、プロデュース力が向上した。
- ・出演者は、性別では女性、年齢層では20歳未満、20代が多いが、若年層の鑑賞（参加）者は減少傾向にあるので、子どもや若者たちに文化芸術の楽しさをどう体験させるかが課題。

#### (5) 評価委員の報告

- ・全体的には、設定された目標・戦略は概ね達成され、レベルも一定担保されて楽しめる事業になってきている。
- ・キラリ☆アートプロジェクトの2事業は、課題はあるが目標、戦略はほぼ達成されている。
- ・地区事業は、西部は映像や写真の活動が活発、中部は次世代の育成、東部は和紙を活用した円形舞台と、各地区の特徴が出ていた。
- ・実行委員会主催事業の鑑賞（参加）者は、ここ4年間、女性が男性の2倍の状況。年齢層は20代、30代が増加してはいるが、「男性と20代の鑑賞者発掘と拡大」は引き続き追求しなければならない課題。
- ・「若者が参画できる環境整備」のための教育機関との連携が不十分であり、可能な部分から連携を模索すべき。

(6) 今後の課題

- ・「とりアート」のレベルアップのために重要なアートマネジメント力は、短期間での育成は難しいため、経験を重ねながら時間をかけて育成していく必要がある。
- ・広報については、ポスター、チラシ等の配布やメディアの活用のほか、インターネット配信等の新しい取組に成果が見られるが、県民の「とりアート」の認知度は依然として高いとは言えないので、効果的で継続的な広報活動が必要。
- ・中には内輪的・閉鎖的な事業が見られることから、県民に開かれたものとする必要がある。

総合芸術文化祭実行委員会では、評価委員会座長から本報告を受け、指摘された課題等について本年度以降の事業実施を進める上で改善につなげていきます。

## 韓国江原道知事・議会議長との統轄監面談結果について

平成23年5月20日  
交流推進課

民間交流事業（鳥取県江原道交流ツアー）を利用して韓国江原道を訪問した際に、江原道知事及び道議会議長を以下のとおり表敬した。

### 1 江原道知事表敬

- (1) 日時 平成23年5月2日（月）午前9時10分～9時30分
- (2) 場所 江原道庁会議室
- (3) 出席者 江原道：崔文洵（チェ・ムンスン）知事  
鳥取県：河原統轄監、林西部総合事務所長、堀田文化観光局副局長ほか
- (4) 概要

#### ア 河原統轄監発言要旨等

- ・東日本大震災に対し支援いただいたことに感謝
- ・風評被害もあり3月以降DBS等のキャンセルが相次いたが、鳥取県は大丈夫であり、行政・企業・民間が協力して安定運航、交流活発化を進めていきたい
- ・平井知事からの親書を手交

#### イ 崔知事発言要旨

- ・震災について心よりお見舞い申し上げる
- ・鳥取に被害がないことは何よりで、自分も鳥取に行く機会があればと思っている
- ・漁民は同じ海を利用しており、今は影響がないので一安心しているが、心理的には萎縮している状態であり、道民にも安心感を与えることが必要
- ・知事親書に感謝

### 2 江原道議会議長表敬

- (1) 日時 平成23年5月2日（月）午前9時40分～10時
- (2) 場所 江原道議会（議長室）
- (3) 出席者 江原道：金箕男（キム・ギナム）議長  
鳥取県：河原統轄監、林西部総合事務所長、堀田文化観光局副局長ほか
- (4) 概要

#### ア 河原統轄監発言要旨

- ・震災に対する支援に感謝。想像以上の被害があり日本全体で復興に向け努力しており、鳥取からも被災地に応援隊を送っている
- ・風評被害に困惑しているが、鳥取は安全だということを知っていただきたい
- ・官民一体で交流インフラであるDBSを盛り立てようと頑張っている
- ・鳥取県議会議員は改選され、5月9日には新議長も決まる

#### イ 金議長発言要旨

- ・震災からの復興を願っている。交流先の宮城には見舞状、義援金を送った
- ・日本が復興に向け努力している時期に訪問するのは遠慮すべきと考えている
- ・宮城県議会にも行って慰めたいが、迷惑をかけることになると差し控えている

大韓民国江原道知事 崔文洵 様

この度は、第36代江原道知事への御就任おめでとうございます。鳥取県民を代表して心からお喜び申し上げますとともに、北東アジアの新時代を切り開くパートナーとして大変心強く存じます。

鳥取県と江原道は1994年に友好提携を締結して以来活発な交流を続け、大交流時代を迎えた今では、北東アジア地域の相互発展に欠かかせないパートナーとして、多様な分野で交流、協力を実施しており、日韓地域間交流のモデルケースと言われるまでになりました。

引き続き、貴道とともに官民を挙げて幅広い交流を実施することで、両県道民の更なる友好促進と相互発展を図ってまいります。

ご存知のとおり、日本では3月に宮城県沖で発生した東日本大震災によって、東北地方を中心に多くの死傷者・行方不明者が発生するなど甚大な被害が発生しておりますが、本県をはじめとする各県では支援物資の送付や職員の災害応援派遣、被災者の受入を行うなど、日本が一丸となって一日も早い復興を目指しております。

幸いにも、本県をはじめとする西日本は、この度の震災による被害を免れ、放射能による影響も全くなく安全ですが、この震災の影響で外国人観光客数が全国的に激減しており、特に韓国人利用客が大半を占めているDBS航路も例外ではありません。

3月上旬までは、本県でロケが行われた韓国ドラマ「アテナ」のロケ地ツアーなどにより旅客も好調で、貨物についても、徐々に日本の荷主企業にも認知されはじめて上向きかけていたときに非常に残念でなりません。

DBS航路は米子ソウル便と並ぶ本県の日韓交流の大動脈であり、特に本県と貴道を直接結ぶ夢の航路、そして両県道の友好交流のシンボルでもあります。

本県といたしましても、引き続き韓国旅行社等に対して震災による風評被害の払拭に努めるとともに、県内市町村、経済界などに積極的な利用を働きかけるなど交流と観光の活性化に資する取り組みを行い、また貿易の促進も図っているところです。

本県をはじめとする被災を免れた地域が日本を元気にし、経済を活性化させることが復興の一助になるのではないかと考えております。

この度の江原道友好ツアーもその一環として、両県道交流の立役者であり、江原道名誉道民でもある在日本大韓国民団鳥取県地方本部の薛幸夫団長に御尽力いただき実現したものです。

日本、そして鳥取県が元気であり、今後とも日韓交流を活発にしていこうというメッセージを伝えるとともに、両県道民の友好増進にも寄与する取り組みだと考えております。

DBS航路は両県道の友好を深め、更なる発展をもたらす貴重な海のインフラであり、貴道とともにこの試練を乗り越えるべく、私どもも最大限の努力をしていく所存ですので、貴道におかれましても航路の運航継続に向けて御理解と御協力をお願い申し上げます。

今年7月には2018年の冬季オリンピック開催地が決定されると伺っておりますが、今度こそ平昌郡が開催地に決定されることを心より願っております。

最後となりましたが、崔文洵知事様の御健勝と江原道のますますの御発展を祈念いたしますとともに、崔文洵知事様とできるだけ早い機会にお目にかかれることを心より願っております。

2011年4月28日

日本国鳥取県知事

平井伸治

# 第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット 実務代表者会議の結果について

平成23年5月20日  
交流推進課

中国吉林省において開催された「第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット実務代表者会議」の結果を下記のとおり報告します。

## 記

### 1 実務代表者会議日程

- (1) 日時 平成23年5月11日(水)～13日(金)
- (2) 場所 中国吉林省
- (3) 参加者 中国吉林省 張志軍(チャン・ジージュン) 外事弁公室主任 他  
韓国江原道 文錫完(ムン・ソクワン) 国際協力室長 他  
ロシア沿海地方 マルキン・エブゲーニー 国際協力・観光局長 他  
モンゴル中央県 ユンデン・ビャンバツォグト 財務国庫部長 他  
鳥取県 堀田利明文化観光局副局長、小牧兼太郎交流推進課長 他

### 2 会議結果

第16回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットについて、以下の案にて中国吉林省において開催されることが提案され、詳細は今後引き続き協議することになりました。

#### (1) サミット本会議

(※日時・議題については基本的には了承であるものの、今後の協議を経て最終決定の予定)

- ア. 日時 平成23年9月5日(月) 8:30～12:00
- イ. 会場 中国吉林省長春市 シャングリラホテル
- ウ. 主題 ◇北東アジア地域のルート建設(陸路と海路)  
◇地域内のエネルギー協力の強化  
◇地域間の共同プラットフォームづくり及び相互発展の促進
- エ. その他 翌6日(火) 9時から開催される「北東アジア投資貿易博覧会」開幕式に合同出席

#### (2) サミット関連事業

##### ア. 経済人協議会

- (ア) 時期 平成23年9月5日(月) 13:30～16:30
- (イ) 会場 中国吉林省長春市 シャングリラホテル
- (ウ) 内容 各地域の民間企業等による貿易・投資環境説明、商談

##### イ. 環境保護機関実務者協議会

- (ア) 時期 平成23年9月5日(月)～6日(火)
- (イ) 会場 中国吉林省長春市 シャングリラホテル 他
- (ウ) 内容 各地域による環境政策の発表、水質汚染防止、生態系改善等についての討議など

##### ウ. 美術作品展示会

- (ア) 時期 平成23年9月4日(日)～7日(水)
- (イ) 会場 中国吉林省長春市 北東アジア芸術センター

##### エ. マスコミ代表者会議

- (ア) 時期 平成23年9月5日(月) 13:45～17:00
- (イ) 会場 中国吉林省長春市 シャングリラホテル
- (ウ) 主題 「マスコミ協力ルートを拡大し、北東アジア地域開発の役割を果たす」

#### (3) その他

- ア. 輪番制に基づき、来年度の第17回サミットを本県で開催することが合意されたこと
- イ. 東日本大震災による風評被害拡大防止に向け、本県に被害がないことを説明するとともに、各地域に対し、正確な現地情報の共有と更なる経済・観光交流の促進を提案したこと

# ゴールデンウィークの主要観光施設等の入込客数について

平成23年5月20日

観光政策課

## 1 対象期間

4月29日(金・祝)～5月8日(日)の10日間(昨年 4月29日(木・祝)～5月9日(日)の11日間)

## 2 概況(主な増減)

### (1) 全体

○主要観光施設の入込客数は、昨年より対象期間が1日短いながら、県全体としては増加した。心配された震災による影響も少なかった模様。

### (2) 東部地区

○鳥取砂丘については、約75,000人減少(前年比67.2%)した。昨年まで実施された砂の美術館が今年は整備工事のため休止されたことによる影響と推察。

○わらべ館では、約5,000人増加(前年比176.9%)した。4月23日にリニューアルオープンしたことによる効果と推察。

### (3) 中部地区

○倉吉博物館では約7,500人増加(前年比271.9%)した。期間中開催された「トリックアート展」の効果と推察。

○その他、赤瓦、青山剛昌ふるさと館では1日平均入込数が約10～20%増加した。

### (4) 西部地区

○水木しげるロードは、約121,000人増加(対前年比143.0%)で、合計40万人を超え過去最高を記録。

○とっとり花回廊では1日平均入込数が約10%増加した。

## 3 具体的入込客数

(単位:人)

観光施設名	圏域	平成23年	平成22年	増減	対前年比
砂丘	東部	153,605	228,647	▲ 75,042	67.2%
わらべ館		12,092	6,836	5,256	176.9%
仁風閣		1,929	2,069	▲ 140	93.2%
鳥取砂丘こどもの国		24,921	24,679	242	101.0%
お城山展望台河原城		3,651	3,317	334	110.1%
因幡万葉歴史館		654	776	▲ 122	84.3%
流しびなの館		397	422	▲ 25	94.1%
鹿野そば道場		1,443	1,544	▲ 101	93.5%
ホットピア鹿野		3,714	4,103	▲ 389	90.5%
竹林公園		2,325	3,054	▲ 729	76.1%
氷ノ山自然ふれあい館 誓の森		3,114	3,708	▲ 594	84.0%
鳥取県立博物館		2,308	2,535	▲ 227	91.0%
鳥取港海鮮市場かるいち		29,639	28,119	1,520	105.4%
鳥取市さびアストロパーク		1,769	1,609	160	109.9%
石谷家住宅		1,654	3,054	▲ 1,400	54.2%
鳥取二十世紀梨記念館		中部	4,129	3,048	1,081
赤瓦(1号館)	8,200		8,195	5	100.1%
せきがね温泉湯命館	6,411		6,211	200	103.2%
倉吉博物館	11,837		4,353	7,484	271.9%
ハワイゆ～たうん	3,875		3,700	175	104.7%
潮風の丘とまり	2,929		3,371	▲ 442	86.9%
ゆアス東郷龍風閣	3,494		3,925	▲ 431	89.0%
中国庭園燕趙園	6,011		6,950	▲ 939	86.5%
青山剛昌ふるさと館	9,283	8,462	821	109.7%	
水木しげるロード	西部	405,256	283,486	121,770	143.0%
米子水鳥公園		1,065	1,168	▲ 103	91.2%
海とくらしの史料館		2,513	2,364	149	106.3%
夢みなとタワー		6,961	7,186	▲ 225	96.9%
水木しげる記念館		30,736	31,577	▲ 841	97.3%
植田正治写真美術館		1,801	2,295	▲ 494	78.5%
鳥取県立むきばんだ史跡公園		5,608	4,457	1,151	125.8%
とっとり花回廊		57,232	57,066	166	100.3%
大山自然歴史館		4,349	5,210	▲ 861	83.5%
おーゆランド		22,283	22,509	▲ 226	99.0%
大山まきば みるくの里		37,835	37,223	612	101.6%
計		875,023	817,228	57,795	107.1%

## 東日本大震災に係る県内への緊急誘客対策について（国内観光）

平成23年5月20日  
観 光 政 策 課

東日本大震災による観光面への影響に対処するため、「鳥取発！がんばろう日本！」と題しキャンペーンを展開するなど、緊急対策を講じて鳥取県への誘客を図ります。

### 1. 「鳥取発！がんばろう日本！」プレゼントキャンペーン

大型連休中に鳥取県内の宿泊施設に宿泊される方（先着15,000人）で、「鳥取発！がんばろう日本！」と予約時に申し出ていただいた方に、もれなく鬼太郎グッズ、トリピーグッズをプレゼントするキャンペーンを実施した。

※ 対象期間 4月29日（金）～5月8日（日）

### 2. 「鳥取発！がんばろう日本！」ワンコインキャンペーン

宿泊サイト「じゃらんnet」（会員数900万人）、「楽天トラベル」（会員数1,300万人）から、鳥取県の対象宿泊施設の特定プランを予約申込みいただくと、先着10,000名に500円分の館内施設の無料利用券がもらえるキャンペーンを実施中。

※ 対象期間 5月9日（月）～7月15日（金）の宿泊

### 3. 鳥取県民感謝キャンペーン（鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合自主事業）

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合の会員宿泊施設による鳥取県在住者を対象とした特別キャンペーン。同キャンペーンの対象となる宿泊施設の特定プランを、電話で予約いただくと、500円または1,000円の館内施設の無料利用券をプレゼント。

※ 対象期間 6月1日（水）～7月15日（金）

### 4. 各種広報

- ① 新聞広告等による鳥取県観光PR  
関西・山陽・四国などをターゲットとして県外マスコミで情報発信中。
- ② メーリングリスト等のネットワークを活用したPR  
メールマガジン、県観光ニュースの配信網を活用し、春期観光情報を発信中。
- ③ 「じゃらん」「楽天」Webを活用した緊急誘客宣伝活動  
個人旅行者が利用する宿泊サイト「じゃらん」「楽天トラベル」でWEBでの誘客宣伝を行うとともに、会員等へのメール送信で観光情報を提供中。

### 5. その他

- ① 雑誌メディアおよびマスコミキャラバンによる鳥取県観光PR
- ② 体験型教育旅行の誘致活動強化
- ③ 旅行会社と連携した商品造成支援
- ④ 鳥取県職員への県内宿泊施設等の積極的利用の働きかけ

### 《参 考》

温泉旅館等の状況（4月11日時点調査）

（鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合調査：加盟140施設中80施設から回答）

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| ・ 3/11～4/10までのキャンセル数        | 10,839人 |
| ・ 4/11以降のキャンセル（連絡があったもの）見込み | 15,109人 |
| ・ 日帰りの懇親会、昼食等のキャンセル数        | 3,765人  |



## 米子ソウル便、環日本海貨客船航路(旅客)の利用実績等について

平成23年5月20日

国際観光推進課

### 1. 米子ソウル便の利用実績等

#### (1) 平成22年度実績

搭乗率59.8% (60.2%)、搭乗者数29,617人 (32,406人) \* ( )内は前年度実績

- ・国籍別の乗降人数は、日本人16,138人(対前年度比3,506人減少)、韓国人13,104人(対前年度比778人増加、就航以来最多)、その他375人(対前年度比61人減少)であった。
- ・年末年始の豪雪により、12月31日及び1月2日の2往復が欠航(雪が原因で欠航となったのは就航以来初めて)。豪雪の影響により1月～3月の日本側からの利用(アウトバウンド)需要が減少した。
- ・韓国側からの利用(インバウンド)は、12月頃から韓国ドラマロケ地を巡る旅行商品や韓国ケーブルテレビホームショッピングによる旅行商品の販売が好調だったが、3月11日の東日本大震災発生以降、韓国人利用者が激減した。

#### (2) 平成23年度第一四半期の利用・予約状況(5月12日現在) \* ( )内は前年同期実績

4月: 45.8% (67.7%)、5月: 53.3% (57.3%)、6月: 24.2% (32.5%)

- ・原子力発電所事故発生の影響により、とくにインバウンドは4月以降も新規予約が伸びない状況。

### 2. 環日本海貨客船航路(境港～東海)の利用実績等

#### (1) 平成22年度実績

乗客数27,035人 (180人) \* ( )内は1便当りの実績

【内訳】日本人1,830人(6.8%)、韓国人22,027人(81.5%)、ロシア人2,708人(10.0%)  
その他470人(1.7%)

- ・10月以降の週1便化(それ以前は週2便)に伴い、日本側からの利用がしにくいダイヤとなり、日本人利用者が大幅に減少したが、韓国人利用者は、韓国ドラマ効果などにより増加していたところ、3月11日の東日本大震災発生以降、韓国人利用者が激減した。

#### (2) 平成23年4月～5月の利用・予約状況(5月12日現在)

4月: 1,059人 (106人)、5月: 1,057人 (264人) \* ( )内は1便当りの実績

【内訳】日本人374人(17.7%)、韓国人1,500人(70.9%)、ロシア人177人(8.4%)  
その他65人(3.0%)

- ・日本側からの利用促進、韓国側での低価格旅行商品販売により、利用者が増加中。  
\*5月19日～6月1日までは定期点検のため欠航

### 3. 外国人県内延べ宿泊者数

平成22年1月～12月実績(出典:観光庁・宿泊旅行統計調査)

総数23,470人(14,020人、伸率:167.4%)、全国43位(46位)

【内訳】韓国14,580人(6,340人、伸率:230.0%) \* 全国31位(36位)

台湾1,940人(2,040人、伸率:95.1%)

中国1,640人(1,120人、伸率:146.4%)

ロシア1,240人(—、伸率:皆増) \* 前年データなし

香港440人(110人、伸率:400.0%)

その他3,630人(4,410人、伸率:167.4%)

\* ( )内の人数、順位は前年実績

## 東日本大震災に係る観光への影響・対策について（国際観光）

平成23年5月20日

国際観光推進課

### 1. 現 状

#### (1) 概 況

- 東日本大震災発生後、米子ソウル便及び環日本海貨客船航路（境港～東海）のとくに韓国発のインバウンド利用が大幅に減少。
- その後、原子力発電所事故発生による風評も重なり、韓国で販売している日本旅行商品は集客できない状況。

#### (2) 米子ソウル便の現況

- ・ 日本側からの利用（アウトバウンド）は、市町村・商工団体・交流団体・県などの率先利用や、山陰国際観光協議会によるグループ旅行支援の拡充などにより、昨年同期を上回る状況。
- ・ 韓国側からの利用（インバウンド）は、依然低迷しており回復の兆しが見えない。

#### (3) 環日本海貨客船航路（境港～東海）の現況

- ・ アウトバウンドは、米子ソウル便との併用による利用促進により増加。
- ・ インバウンドは、4月中旬から韓国旅行会社が販売開始した低価格旅行商品が好調で回復の兆し。

### 2. 今後の誘客対策

- ① 当面は日本側からの利用促進強化により、定期路線の下支えを行う。
- ② 並行して海外での風評や旅行者の動きを注視し、タイミングを見計らって効果的な誘客対策を実施する。
- ③ 上記対策のバランス・切り替えにより、定期路線の安定と観光交流の復活・拡大につなげる。

#### 【当面の主な対策】

##### ○アウトバウンド

- ・ 山陰国際観光協議会によるグループ旅行支援拡充 … 4月～5月（期間延長を検討中）
- ・ 米子鬼太郎空港発着のリムジンバス利用者への支援 … 4月～翌年3月
- ・ 韓国、江原道の観光PR番組の制作 … 7月放送予定

##### ○インバウンド

- ・ 安全・安心な鳥取県のPR～旅行会社への情報提供、web情報発信 … 4月～5月
- ・ 台湾八大テレビ局の取材受入（5月16日～28日）
- ・ 韓国最大手旅行社ハナツアー旅行博覧会への出展、観光PR（韓国高陽市） … 5月20日～22日
- ・ ロシア沿海地方におけるテレビ及び映画館でのコマーシャル放送 … 6月～10月
- ・ サイクリング、ウォーキングなどを題材にした新しい観光プログラムの開発・普及（6月補正予算検討中）

#### <参 考>

グループ旅行支援の拡充内容	リムジンバス利用者への支援
最高で30万円の支援を行います。 （4人以上のグループはその人数に応じて通常の2倍の支援）	米子鬼太郎空港⇄鳥取駅、倉吉駅（はわい温泉・三朝温泉経由）のリムジンバス利用者へバス料金の半額を支援します。
支 援 額：4人以上のグループ…2万円 （往復利用の場合）8人以上のグループ…4万円 ※片道利用の場合 13人以上のグループ…10万円 は半額支援 25人以上のグループ…20万円 50人以上のグループ…30万円	対 象 者：米子ソウル便の航空券を申し込んだ際に旅行会社から「半額助成券」が交付されたリムジンバス利用者 支援後料金：米子鬼太郎空港 ⇄ 鳥取駅 1,000円 米子鬼太郎空港 ⇄ 倉吉駅・はわい温泉・三朝温泉 いずれも 750円
*米子ソウル便と環日本海貨客船を同時に片道ずつ利用する場合（4人以上のグループ）も、上記の米子ソウル便往復利用と同額の支援を行います。	